

教育センターニュース

四日市市教育委員会 教育支援課 〒510-0085 四日市市諏訪町 2-2 (四日市市総合会館6階)
TEL (354)-8283 (代) FAX (359)-0280
ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>



教育支援課
マスコットキャラクター
しえん君



■特集 特別支援教育・相談グループより、研修・研究グループより

合言葉は

「じっくり見て



しっかり聞いて



はっきり言おう



！」

教育支援課 小倉 秀樹

「やったー」「できたー」の歓声と拍手が部屋中に響き渡ります。子どもたちは満面の笑顔で、跳び上がりながら喜びを表します。

これは、教育支援課が昨年度から取り組んでいる「^{アンダーエイト}U-8事業」の「ともだちづくり教室」のワンシーンです。子どもたちに、SST（ソーシャルスキルトレーニング）を通して、社会的なスキルを身に付けさせ、円滑な人間関係を築く力を付けることがねらいです。

一クール全六回。各回にテーマ（身に付けたいスキル）を設定します。はじめに、テーマに沿った学習タイムが始まります。今日のテーマは「負けても平気」。まず、スタッフがゲームをして、負けた方が怒る場面をロールプレイで演じます。負けてぶんぶん怒ったスタッフの顔。勝ってもあまりうれしくないスタ

ツフの顔。表情をしっかりと子どもたちに見せます。そして、「負けても怒らないようにするには、どうすればいいかな？」と問いかけます。そこで、スタッフは深呼吸したり、「怒らない、大丈夫」と言葉をくり返し

言ったりする技を見せます。ロールプレイをするスタッフの演技はとてすばらしく、子どもたちも思わず引き込まれていきます。子どもたちはその技を何回も練習します。

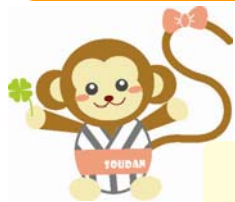
次はとなりの部屋で遊びタイムです。ただ単に遊ぶのではなく、学習タイムで覚えた技を実際の遊びの中で生かす練習が目的です。スタッフがわざと子どもたちに勝負場面を作ります。でも、子どもたちは学習タイムで覚えた技を武器にゲームや活動に参加しようとしています。一方、子どもたちの活動の裏番組で、保護者の教室が行われます。P

T（ペアレントトレーニング）です。子どもたちが頑張るだけではスキルは身に付きません。身に付けたスキルをいかに保護者が褒めて定着させるかにかかっています。保護者も褒める技を身に付けるのです。

最後は、フィードバックです。今日身に付けた技を実際の子どもの姿を通して、きちんと子どもたちに評価として返します。そして、缶バッチをごほうびにいただきます。

拍手と歓声と褒め言葉がいつもあふれる教室を目指しませんか？





不登校に関わる教育相談について

教育支援課では、不登校に関わる相談を、保護者や学校の先生方を対象に行っています。来所相談を原則とし、子どもの不登校改善に向けて、ともに考えていきます。

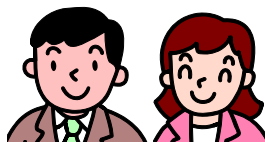
【相談申し込みの流れ】

- 保護者が電話で相談します
↓
(TEL: 354-8285)
- 電話を受けるのは、相談員（指導主事を含む）です
↓
- 来所日の予約をします
↓
- 相談員が保護者や本人と初回面談を行います
(保護者だけの相談もあります)
↓
- 相談の中で、子どもの不登校の要因や、こころの状態を把握し、これからの対応を一緒に考えていきます

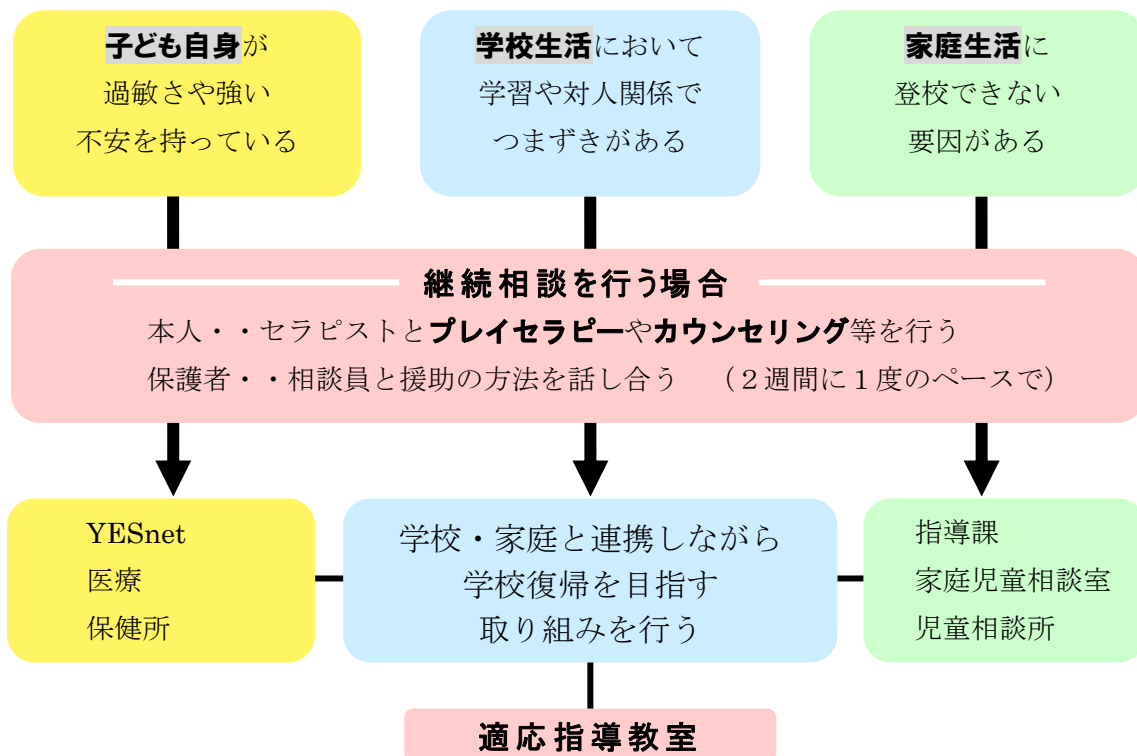


相談室

場所：四日市市総合会館6階
教育支援課
(相談支援センター)



学校として、不登校対応について相談したい場合も、お気軽にお電話ください。



プレイセラピーとは？

プレイセラピー（遊戯療法）とは、子どもを対象とした、「遊び」を媒介とする心理療法のひとつです。子どもは言語能力に限界があるため、言葉よりも遊びの中で、自分の気持ちをより豊かに表現することができます。

プレイセラピーは、子どもと治療者（セラピスト）の1対1で行われ、さまざまな遊具や玩具のある、プレイルーム（写真）で50分間をともに過ごします。プレイルームの中では、子どもは自分の気持ちを自由に表現し、それをセラピストが受け止めるという相互交流が行われます。この相互交流を通して、子どもの情緒の安定をはかり、成長を促す手助けをします。プレイセラピーを1～2週間に1度のペースで、一定期間継続し、子どもの抱える心理的課題の改善をめざしていきます。

なお、対象となるのは、不登校や、癩黙、チック、吃音、抜毛、などの心因性の問題で、プレイセラピーが適切と考えられる場合です。年齢には下限があり、3～4歳から可能になります。

月曜日
セラピスト
野田有美さん



火曜日
セラピスト
橋 浩太さん



子どもの主体性を大事にして
プレイセラピーをおこなっています。



プレイルーム

水曜日
セラピスト
中澤紗矢香さん



プレイルーム

子どもとの安定した関係性をベースに、
プレイセラピーを行っていきます。

木・金曜日
セラピスト
今尾真弓さん



箱庭



授業研究のススメ

夏季教職員研修はいかがでしたか？

この夏、研修に参加した先生は、のべ約 5000 人！多くの先生の一生懸命な姿に、元気をもらった教育支援課スタッフです。たくさんのご参加ありがとうございました。

さて、2 学期は「教師力向上サポートブック」のSTEP 3【行動のステップ】とSTEP 4【経験のステップ】の時期です。研修での学びを自分の実践に活用していきましょう。

◆ 授業を見る・見せる

～「教師の成長にとって、大切なのは『よい出会い』だよ」～

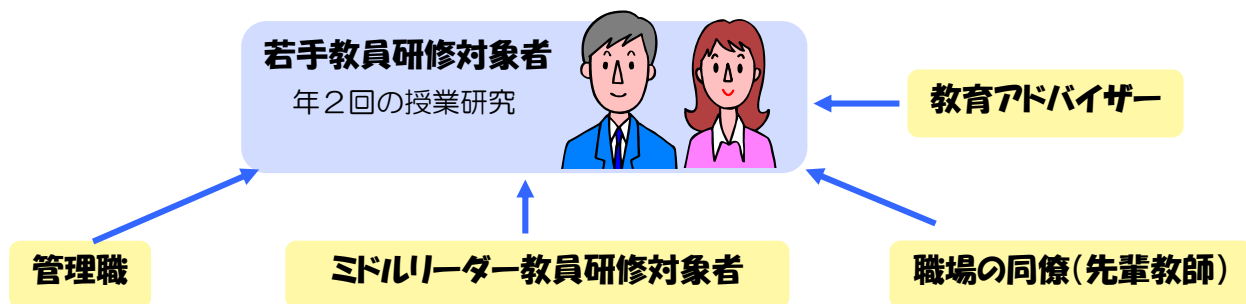
先日、ある小学校の校長先生からお聞きした言葉です。「職場での先輩・後輩の出会いはもちろんのこと、『よい授業』との出会いが必要である。『見て学びとる』みずみずしい感覚をいくつになっても忘れないようにしたい」…とのことでした。

この2 学期、とことん教材研究をした後は、ぜひ「授業研究」を取り入れましょう。自分の課題を解決するための「授業研究」です。学年や教科の枠を超え、いろいろな人の普通の授業を見てみましょう。また、自分の普通の授業を見てもらい、互いの気づきを交流しましょう。たくさんの授業を見る・見せることが、『よい出会い』の第一歩となります。

◆ 職場で育つ若手教員

～若手教員の授業を見よう・若手教員に授業を見せよう～

今年度から始まった「若手教員研修」の目玉は、校内における「授業研究」です。2 学期には若手教員が授業を公開する機会もあることでしょう。ぜひ全職員で若手教員の授業を「見る」！そして自分の授業を若手教員に「見せる」！校内で数多くの「よい出会い」を生み出しましょう。



◆ 公開授業研究のお知らせ



自分から出かけよう

たくさんの公開授業研究会が開催されます。自分から積極的に出かけ、がんばっている先生の授業からパワーをもらい、自分の実践に生かしましょう。

学力向上・授業づくり研修—小・中授業づくり— 公開授業研究「自ら学ぶ力が育つ授業づくり②」

中部中学校

11月10日(水)

14:00~16:45

講師：愛知県教育委員会海部教育事務所長 玉置 崇

13:30~14:00 受付

14:00~14:50 授業公開

1年生 保健体育, 美術

2年生 家庭, 数学

15:00~15:45 授業研究会

15:45~16:45 玉置先生の講演

学力向上・授業づくり研修—小・中授業づくり— 公開授業研究「ICTを活用した授業づくり②」

~一人ひとりが生き生きと活動し、互いに学び合う授業の創造~

授業における具体的なICTの活用を学ぶよい機会です。

小山田小学校

11月25日(木)

13:20~16:45

講師：大阪教育大学 教授 木原俊行

13:00~13:20 受付

13:20~13:40 オリエンテーション

13:40~14:25 授業公開

1年生 国語

4年生 算数

5年生 外国語活動

14:45~15:45 研究討議

15:55~16:45 木原先生の講演

文部科学省指定 道徳教育実践研究事業「つながる心、つながる個」

~思いや考えを伝え合う授業の創造~

泊山小学校

11月27日(土)

9:00~17:00

講師：早稲田大学 教育・総合科学学術院

教授 小林宏己

*一次案内は [こちら](#)

8:30~ 9:00 受付

9:00~ 9:45 全体会

9:45~10:45 泊山フェスティバル

11:00~11:45 授業公開Ⅰ(全クラス)

11:00~12:25 昼食・休憩

12:45~13:30 授業公開Ⅱ(各学年部)

14:00~17:00 分科会(事後研修)

小学校に

「わくわく古典教室(高学年用)」導入!



小学校では新学習指導要領のもと、来年度から教科書が変わります。「伝統的な言語文化に触れたり親しませたりする」というねらいで、国語科では昔話や俳句、古文や漢文も出てきています。

そこで、9月からデジタル教材として、小学校に「わくわく古典教室(高学年用)」が導入されました。

古典の名作を音読・暗唱することで「ことば」の美しさを再発見!「見て聞いて、読んで楽しむ!」授業を始めませんか?

5つの特徴

- ① 本文を大きく提示
- ② プリント教材としての活用
- ③ 古典の世界がわかる動画
- ④ イメージを広げる美しい画像
- ⑤ 暗唱も楽しくなる「かくし紙」機能



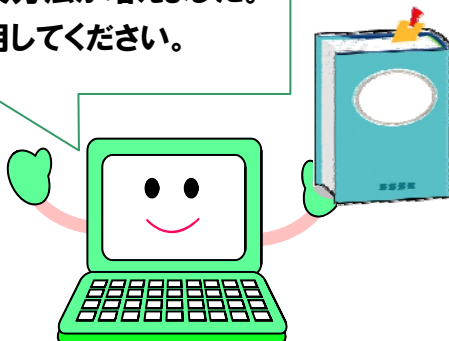
リブ アット スクール 学校図書館システム LB@SCHOOL が新しくなりました!

「さあ、本を借りよう!返そう!」
「先生、バーコードを使った本の貸し借りが速くなったね。」

LB@SCHOOL バージョン2がこの9月に導入されました。これによって、図書館での本の貸し出しや返却の際のバーコードの読みとりが速くなり、業務がより効率化されました。また、児童生徒の本の貸出状況がわかりやすく表示されるようになりました。



検索方法が増えました。
活用してください。



4つの検索方法

- ① 学習名検索
- ② 読み物テーマ検索
- ③ 教科書単元検索
- ④ 読み物キーワード検索